

大分県地球温暖化対策実行計画(第4期)区域施策編の概要

序章 計画策定の趣旨

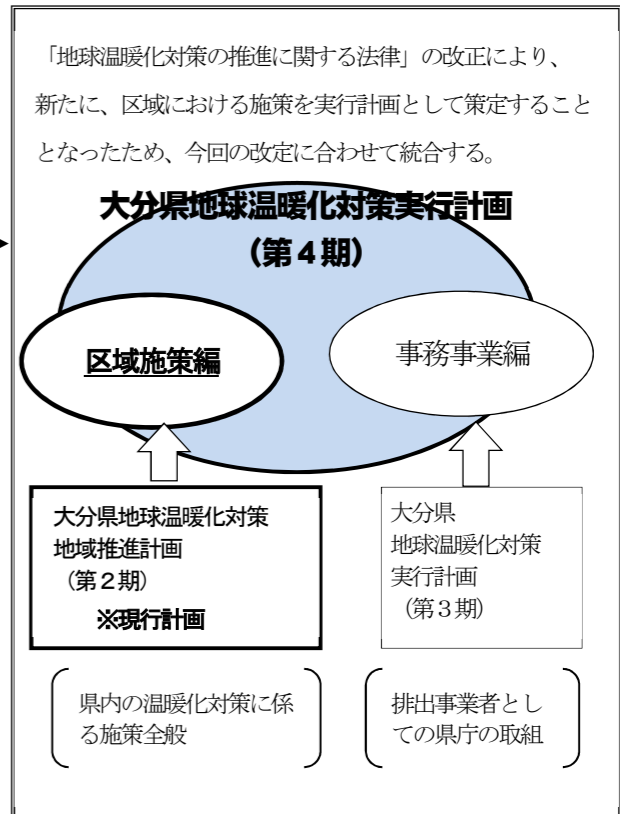
地球温暖化…「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)の第5次評価報告書(2014年)では、「気候システムの温暖化には疑う余地がない」と断定しており、また、20世紀の半ば以降の温暖化の主な要因は人間の活動によってもたらされた可能性が極めて高いと報告されている。

1 計画の策定

- (1)経緯… 地球温暖化問題が深刻さを増すなか、現行計画である「大分県地球温暖化対策地域推進計画(第2期)」が平成27年度で終了することから、計画の改定を行うもの。
- (2)統合… 自らの事務事業において排出する温室効果ガスの削減目標等を定めた「大分県地球温暖化対策実行計画(第3期)」との統合を行う。
- (3)位置付け… 大分県の温室効果ガスの排出特性等を踏まえ、温室効果ガスの排出削減目標や県民、事業者、行政等が協働して取り組む施策等を示す総合的なプラン(「地球温暖化対策の推進に関する法律」に定める地方公共団体の実行計画であるとともに「第3次大分県環境基本計画」の個別計画との位置付け)
- (4)計画期間… 2016(平成28)年度～2020(平成32)年度：5年間
 目標年度… 2020(平成32)年度 (基準年度：2013(平成25)年度)
 ※COP21において我が国が表明した温室効果ガスの削減目標(2030(平成42)年度に2013(平成25)年度比で△26%の水準)を踏まえた計画とするため、2030(平成42)年度における目標も設定

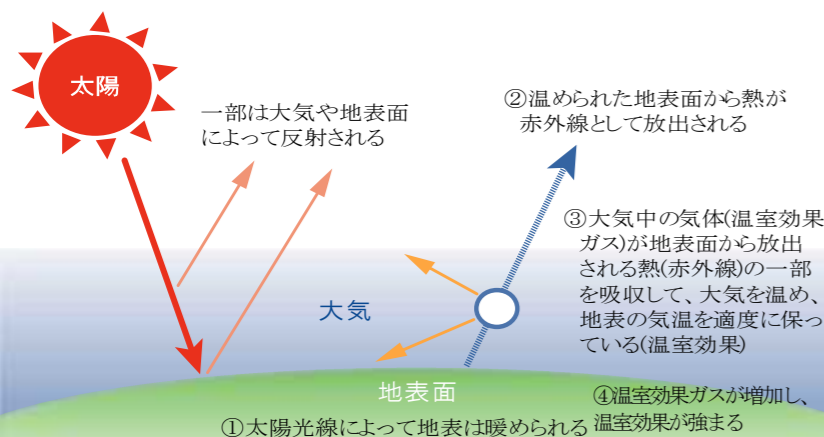
2 地球温暖化対策の経緯

- (1)国際的な対策…1992(平成4)年に「気候変動に関する国際連合枠組条約」が採択され、1995(平成7)年からは締約国会議(COP)が毎年開催されている。1997(平成9)年に京都で開催されたCOP3では、先進国に対し法的拘束力のある温室効果ガスの排出削減目標が設定され、また、2015(平成27)年末のCOP21では、途上国を含む全ての国・地域の合意のもと「パリ協定」が採択され、2020(平成32)年以降の地球温暖化対策に関する新たな国際的枠組みが構築された。
- (2)国内の対策…我が国は、COP21に臨んで、2030(平成42)年度における温室効果ガスを2013(平成25)年度比△26%の水準にすることを約束草案として国際社会に表明し、「地球温暖化対策計画」を2016(平成28)年前半に策定することとしている。



第1章 地球温暖化の影響

1 地球温暖化の原因



2 地球温暖化の影響

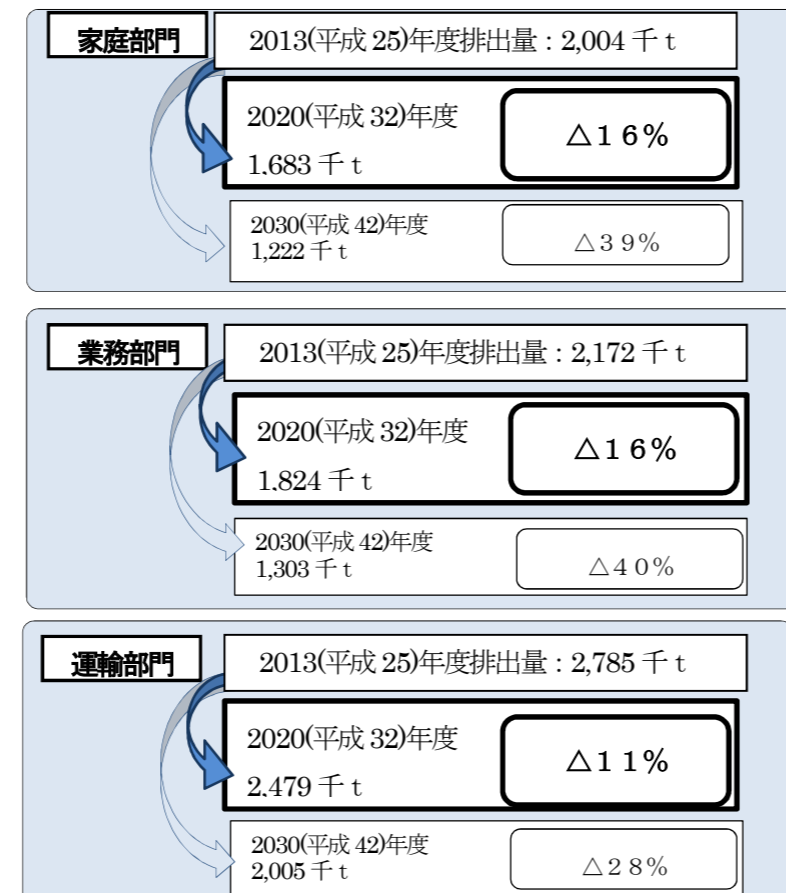
気温の上昇、海水面の上昇、極端現象、自然生態系への影響、地域産業・社会への影響、健康への影響

第2～3章 温室効果ガス排出量の現況推計・将来推計

- ・温室効果ガス排出量の推移(ガス種別、部門別、エネルギー種別)
- ・温室効果ガス排出量の将来推計
- ・森林による二酸化炭素吸収量の将来推計

第4章 温室効果ガス排出量の削減目標

国の削減目標を踏まえ、家庭、業務、運輸の各部門について個別に二酸化炭素排出量の削減目標を設定



第5章 地球温暖化防止のための緩和策組

重点戦略

- 1 温室効果ガスの排出抑制対策の推進(家庭、業務、運輸、各部門におけるCO₂排出抑制対策の推進)
- 2 エコエネルギーの導入促進
- 3 森林吸収源対策の推進

第6章 気候変動の影響への適応策(新)

影響分野における適応策の方向性

- (1) 農林水産業分野 …高温・少雨対策の栽培技術や新たな系統選抜
- (2) 水環境・水資源分野 …モニタリングや監視の実施、節水意識の広報・啓発等
- (3) 自然生態系分野 …生物多様性を支える基盤づくり
- (4) 自然災害・沿岸域分野 …局地的豪雨等の防災情報の提供と避難体制の支援
- (5) 健康分野 …熱中症や感染症の情報提供と注意喚起

第7章 推進体制と進行管理

推進体制の確立

「大分県地球温暖化対策各部門連絡会」や「大分県地球温暖化対策地域協議会」、「おおい たうつくし作戦県民会議」における情報共有、連携の強化等